

ID

氏名

年齢

科名

病棟

PEM+CDDP+Osimertinib療法
(short hydration)

3 週毎 4 コース予定

疾患名 非小細胞肺癌

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()
スケジュール

《注射》		day1	
ペトレキセド	500 mg/m ²	↓	
シスプラチン	75 mg/m ²	↓	
《内服》			
タグリッソ(オシメルチニブ)	80 mg/day	↓	 内服継続

【注意】

- * 一日の尿量が3000 mL以上になるように調整すること
- * シスプラチンは遮光のこと
- * 治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液500 mLを1日2本飲水すること
- * ペトレキセド投与の7日以上前よりパンビタン末を1g分1で内服開始^{注1}
- * ペトレキセド投与の7日以上前より

メチコパール注500 μg 2A(1mg)を筋注(以後9週間毎)^{注2}

注1: 投与中止または終了する場合には、最終投与日から22日目まで可能な限り投与する

注2: 投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1

- ① 生食 500 mLで血管確保

維持(20mL/時間)
- ② 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500mL/時間)
- ③ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + アロカリス 235 mg + 生食 100mL

点滴静注30分(200mL/時間)
- ◎ メインの生食でフラッシュ
- ④ ペトレキセド + 生食 100 mL

点滴静注10分(600mL/時間)

◎ メインの生食でフラッシュ

- ⑤

20%マンニトール 200 mL

点滴静注30分(400mL/時間)
- ⑥

シスプラチン + 生食 適量(全量 500 mL)

点滴静注120分(250mL/時間)
- ⑦

生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500mL/時間)

Day 2-4

デキサメタゾン錠 8 mg 2×朝、昼

内服

Day 1～継続内服

タグリッソ 1日1回

内服

	1コース	2コース	3コース	4コース
月日	/	/	/	/
ペメトレキセド 開始時間	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓
確認				